

議事堂ツアー概要

アルバータ州議会議事堂

州議会議事堂

- アルバータ州は1905年にカナダの州となりました。この議事堂は、1907年から1912年にかけて昔の工ドモントン砦跡近くに建てられました。
- 建物は、20世紀初期に評判があったBEAUX-ARTS(ボザール)と呼ばれるオーネイト・スタイルでデザインされており、当時カナダ国内やアメリカ合衆国内で建てられた首都建築物の多くがこの様式となっています。
- 建物の外壁には、2種類の石が使われています。下部は、カナダ・バンクーバー・アイランドから取り寄せられた花崗岩で出来ており、上部と柱には、アルバータ州のカルガリー市近辺やアメリカ合衆国オハイオ州から取り寄せられた砂岩が使われています。

円形大広間 (2階)

- 円形大広間には、カナダ・ケベック州から運ばれてきた2,000トンあまりの大理石が使われています。純粋の大理石で出来た柱は、それぞれ16トンの重さです。
- 現在の噴水は、1959年に当時カナダの女王であり英国連邦の首長でもあったエリザベス女王2世が、第1回正式訪問されたことを記念して築られました。
- 円形大広間の回りに掛けられた軍旗は、カナダが参戦した戦争に出兵したアルバータ州の軍隊を代表するものです。
- ロールズ・オブ・オナーと呼ばれる巻物には、両世界大戦で戦ったアルバータ州政府職員の名前が書かれています。また、記念の額には、戦死者の名前が彫り込まれています。
- 円形大広間の北西側にある銅像は、ビクトリア女王の4女であるルイーゼ・キャロライン・アルバータ王女で、この州は彼女にちなんで名付けられました。
- 円形大広間の北東側にある銅像は、クローフット酋長のものです。彼は、1800年代後期に西部カナダでの和解に重要な役割を果たしました。
- 正面階段の後部にある議事堂図書館は1906年に設立され、一時はアルバータ州内で最も大きな図書館でした。一般に公開されていますが、今日では、主に議員や州の職員のための参考図書館として利用されています。

3階

- 正面階段を登りつめると州議会本会議場の入り口があります。扉は中央アメリカにある小さな国ペリズから取り寄せた無垢のレッド・マホガニー材の手彫りでできています。
- 扉の上部にあるアルバータ州の紋章もマホガニー製で、約500時間かけて彫られたものです。

アルバータ州首相の肖像画

- 北東側の壁に沿って掛けられているのは、アルバータ州歴代首相の肖像画です。それぞれの絵が異なったスタイルで描かれているのは、各首相が好みに合わせて画家を選んだことを表しています。
- このコレクションには、アルバータ州初代首相であり、アルバータ大学の創立者であるアレキサンダー・ラザフォードと歴代首相の中で最も任期が長く、25年間も務めたアーネスト・マニング(1943~68年)が含まれています。

アルバータ州副総督の肖像画

- 北西側の壁に沿って掛けられているのが、アルバータ州歴代副総督の肖像画です。副総督は、女王を代表する州の長で、州議会で議決された法案に女王の承認を与えます。
- 肖像画に描かれている英国正装には、11~19カラット、約12キログラムの重さの金モールがあしらわれています。
- これらの肖像画の中には、カナダで初めて先住民系から副総督に指名されたラルフ・スタインハウアー閣下(1974~79年)やアルバータ州初の女性副総督、ヘレン・ハンレー閣下(1985~91年)も含まれています。

職杖 (しよくじょう) のケース

- 職杖は、法律を制定する州議会の権威を表す印で、議会の開催期間、会議場へ毎日持ち込まれます。アルバータ州で使われた最初の職杖 (ケースの上部) は、初の州議会に間に合うよう手元にあった残り物の材料を使って急ぎよ作られたものですが、結局、その後50年間それが使われる結果となりました。
- 現在使用されているアルバータ州の職杖 (ケースの下部) は、1955年に作られました。これには、5.7キログラムの銀が使われており、それを金で被い、州花であるワイルドローズと他のアルバータ州の紋章が手彫りされています。
- 儀式的な剣は、しろめと鋼鉄からできています。これは、1987年に新しい剣が寄付されるまで、会議場と傍聴席の護衛をする守衛官が着用していたものです。
- ブラック・ロッド (黒杖) は、1998年にロイヤル・カナディアン・リジョン (王立カナダ軍隊) から寄付されて以来、守衛官が副総督を会議場に先導する時に使われています。スリランカからの黒檀と純銀製のアクセント、そして英国議会により寄贈された1905年の英国銀貨が特徴です。

4階

- 南側の壁には、この州議会議事堂が最初に開かれた当時、主君として統治していた英国王ジョージ5世とメリー王妃の肖像画が掛けられています。
- 北側の壁には議会の歴代議長とアルバータが州になる前にその一部であった北西準州の歴代副総督の肖像画が掛けられています。

州議場

- 会議場を見下ろす傍聴席は午後と夕方の会議時間に一般に公開されており、特別招待客席を除いた一般傍聴席は215名分あります。
- 会議場の天井には、照明用に600個以上の電球が使われています。
- 会議場の両側に机のついた州議員席があります。代表者数が最も多い政党が政権を握り、他の政党は野党となります。各議員の机にはマイクが設置されており、議事進行を放送すると共に、録音に基づいてアルバータ・ノンサード (アルバータ州議会議事録) と呼ばれる公式文書を作成するためにも利用されます。議会のテレビ中継は1972年に始まりました。
- 壁には、エリザベス女王2世とエジンバラ公フィリップ殿下の肖像画が掛けられています。会議場の緑色の大理石は、アメリカ合衆国ペンシルベニア州から取り寄せられました。
- 南端には議長席と天蓋 (てんがい) があります。議長は全議員により秘密投票式で選出され、会議の討議中、議長を務めます。
- 議長席の前にあるテーブルは、議会開催中に職杖が置かれる場所であると共に、議会の進行を手伝う役人が座ります。

5階

- 現在会議室として使用されているカリヨンルームは、以前カナダの建国100年を祝って1967年に取り付けられたカリヨンが置かれていた場所でした。1967年以前は、州の美術館としても使われていました。この部屋のステンドグラスは、会議場で使用されているものと同じ種類のもので、しっくいのできた塑像の中に、古代ギリシャで生死のサイクルを象徴するエッグアンドダーツ (卵とダーツ) のモチーフがご覧いただけます。
- 北側の床には、マジック・スポット (魔法の場所) と呼ばれ、音響が不思議に作用している場所があります。下の円形大広間にある噴水の音が、正面階段を通過してドームに反響し、まるで水がそこに立っている人の上に落ちてくるかのよう聞こえます。
- 東ウイングへの入り口付近には、アルバータ州の「有名な5人」の肖像画があります。この5名は、1929年に婦人が人権と特権に関して「人」として含まれるようカナダの法律を変えることに貢献した女性です。
- 1917年にロバータ・マクアダムスがアルバータ州議会にて、海外兵士の代表の一人として選出されました。彼女は大英帝国初の女性MP (議会議員) の一人で、その称号をルイズ・マッキニーと共有し、その短い任期中に法案を提出した大英帝国初の女性となりました。マクアダムスは1921年に任期を終えました。
- ドームの上部には、1932年にアメリカ合衆国カリフォルニア州から州議会に寄贈された種から育てた5本のヤシの木があります。